

様式第 2 3 号（第 5 条関係）

令和 7 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所 在 地	笠岡市神島4136
協 議 会 名	神島まちづくり協議会
協 議 会 長 名	会長 長鋪幸志

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 6 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 260 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第 5 条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

- 1 変更交付申請額 378,151 円
(交付金決算額)

〔内訳〕

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
417,000	355,818	22,333	38,849

- 2 交付金が減額変更になった理由

親子ふれあいサロンの活動で参加人数が少なかったため。

【添付書類】

- 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第 2 4 号）
- 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第 2 5 号又は様式第 2 5 号の 1)
- 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 神島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	「えひめAI」の普及・利用促進
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	家庭から排水される水質の改善を目指し、「えひめAI」の普及・利用促進に努める。
【効果】	・プールの汚れを楽に落とすことができる。 ・トイレの臭いが消える。 ・排水口のぬめりが取れる。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 9 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
(計画期間 3 年中 1 年目)

3 実施場所

神島協議会倉庫及び各地区集会所

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 270 人（ア＋イ）
（内訳）企画運営に関わった人数： 10 人（ア）
その他関係人数（当日参加者等）： 260 人（イ）
○団 体： （団体名） 地域住民 , （団体名）
（団体名） , （団体名）

5 実施内容

・「えひめAI」を協議会での一次培養、13地区での二次培養で隔月19500(年間117000)を培養し、各家庭で使用し、環境浄化に努める。年2回小学校・他(8件)へプール清掃用で年間6400販売する。

6 決算額

334,667 円（うち交付金分 334,667 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	・神島側の水路の水質が徐々に改善されている。 ・小学校への配布分はプールの汚れが楽に落ちると引き続き利用をいただいている。
【課題】	・えひめ作製回数を2ヶ月に1回(隔月)に変更して6年が立ち、残りぎみになっている事、作業する人が同じ人ばかりや、高齢化という話もあり、回数の見直しを話し合った結果、令和7年度より、作製回数を3ヶ月に一度実施する事にした。

様式第25号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 神島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	「えひめAI」の普及・利用促進

【収入の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 357,000	357,000	0	当該年度分
その他収入	16,000	16,000	0	
えひめ売払い収入	16,000	16,000	0	小学校・他8件
			0	
			0	
計	373,000	373,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	0	0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費	0	0	0	〃
需用費	373,000	333,787	39,213	〃
役務費	0	880	△ 880	〃
使用料及び賃借料	0	0	0	〃
備品購入費	0	0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	373,000	334,667	38,333	決算額のうち市交付金分 ② 334,667

市交付金の余剰金 ①－② 22,333 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 22,333 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

活動交付金

「えひめAI」の普及・利用促進

消耗品費

1

↑ドロップダウンリストから選んでください。

[illegible]

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 「えひめAI」の普及・利用促進

費目	役務費	手数料
----	-----	-----

No.	1	↑ドロップダウンリストから選んでください。
-----	---	-----------------------

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	7	2	12	カネカ食品	振込手数料	880	880
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						880	

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 1

協議会名	神島まちづくり協議会
活動名	「えひめAI」の普及・利用促進

活動目的	家庭から排水される水質の改善を目指し、「えひめAI」の普及・利用促進に努める。
実施内容	・「えひめAI」を協議会での一次培養、13地区での二次培養で隔月1950ℓ(年間11700ℓ)を培養し、各家庭で使用し、環境浄化に努める。年2回小学校・他(8件)へプール清掃用で年間6400販売する。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動の目的・効果を地域の人々で共有することができたか。	3
	活動に参加する人々で話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題について人々で話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
・神島側の水路の水質が徐々に改善されている。 ・小学校への配布分はプールの汚れが落とせると引き続き利用をしていただいている。	・えひめ作製回数を2ヶ月に1回(隔月)に変更して6年が立ち、残りぎみになっている事、作業する人が同じ人ばかりや、高齢化という話もあり、回数の見直しを話し合った結果、令和7年度より、作製回数を3ヶ月に一度実施する事にした。
今後の活動の方向性・改善策	
「えひめAI」の利用・促進を図り、ため池等の水質改善に努める。 みんなの意見を聞き、定期的に作製回数を見直しを検討する。	

様式第24号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 神島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	親子ふれあいサロン
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	就学前の幼児、特に幼稚園・保育所・こども園に通園していない幼児とその父母を対象に、親子の触れ合い遊びを通じての交流、及び情報交換をすること。
【効果】	地域の親子・他の幼児とのふれあいの場を提供する事ができる。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 23 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
(計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

神島公民館 青空認定こども園

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 138 人（ア＋イ）
（内訳）企画運営に関わった人数： 84 人（ア）
その他関係人数（当日参加者等）： 54 人（イ）
○団 体： （団体名） 愛育・栄養委員 ， （団体名） 社会福祉協議会神島内支部
（団体名） 0歳から就学前の乳幼児と保護者 ， （団体名） 民生主任児童委員

5 実施内容

「親子ふれあいサロン」3回実施
・交流会はじめて・クリスマス会・お楽しみ会
青空認定こども園との交流会(夏まつりに参加)
※10月に予定していたのびのび外遊びは天候とこども園の運動会との調整がつかず中止した

6 決算額

21,151 円（うち交付金分 21,151 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	平日のサロンは未就園の子どもの数が少ないため、子ども同士・親同士の交流ができていなかった。そのため、計画を見直し、2回目のサロンから土曜日から日曜日の計画を未就園児・就園児・就学の兄弟姉妹の参加を呼び掛けた。参加の年齢幅が広がって異年齢での遊びを考えたので小さい子どもも大きい子どもも交流しながら楽しく遊ぶことができた。
【課題】	こども園等の行事が雨のため変更し、実施できないことがあった。今後は、他団体と連絡をとり合って計画をしていきたい。

様式第25号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 神島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	親子ふれあいサロン

【収入の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
市交付金	① 60,000	60,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	60,000	60,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
報償費	10,000	0	10,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費	0	0	0	〃
需用費	45,000	17,104	27,896	〃
役務費	5,000	4,047	953	〃
使用料及び賃借料	0	0	0	〃
備品購入費	0	0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	60,000	21,151	38,849	決算額のうち市交付金分 ② 21,151

市交付金の余剰金 ①－② 38,849 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 38,849 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

活動交付金

親子ふれあいサロン

食糧費

1

↑ドロップダウンリストから選んでください。

[illegible]

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 親子ふれあいサロン

費目	需用費	消耗品費
----	-----	------

No. 1 ↑ドロップダウンリスト
から選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	12	18	ダイソー・セリア	紙コップ・包装紙 他	1,870	1,870
2	7	2	12	ダイソー	シール・おはじき	1,760	3,630
3		2	12	セリア	紙コップ・他	770	4,400
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						4,400	

出 納 簿

交付金区分	活動交付金	
活動名	親子ふれあいサロン	
費目	役務費	保険料
No.	1	↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	6	26	社会福祉協議会	傷害保険料	4,047	4,047
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						4,047	

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 2

協議会名	神島まちづくり協議会
活動名	親子ふれあいサロン

活動目的	就学前の幼児、特に幼稚園・保育所・こども園に通園していない幼児とその父母を対象に、親子の触れ合い遊びを通じての交流、及び情報交換をすること。
実施内容	「親子ふれあいサロン」3回実施 ・交流会はじめて・クリスマス会・お楽しみ会 ・青空認定こども園との交流会(夏まつりに参加) ※10月に予定していたのびのび外遊びは天候とこども園の運動会との調整がつかず中止した

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域の人々で共有することができたか。	3
	活動に参加する人々で話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	2
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題について人々で話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をとらえて、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
平日のサロンは未就園の子ども数が少ないため、子ども同士・親同士の交流ができにくかった。 そのため、計画を見直し、2回目のサロンから土曜日から日曜日の計画を未就園児・就園児・就学の兄弟姉妹の参加を呼び掛けた。参加の年齢幅が広がって異年齢での遊びを考えたので小さい子どもも大きい子どもも交流しながら楽しく遊ぶことができた。	こども園等の行事が雨のため変更し、実施できないことがあった。今後は、他団体と連絡を取り合って計画をしていきたい。
今後の活動の方向性・改善策	
・親子遊びや研修の内容を今後も工夫して、幼児も兄弟も保護者も一緒に楽しめるようにしていきたい。 ・参加を迷っている父さん母さんにひと声掛けて背中を押して参加のきっかけを作り、交流できるようにしていきたい。	